

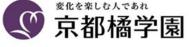


資料提供  
令和8年2月10日  
課名:イノベーション推進チーム  
担当者:崎本  
内線:3346  
直通電話:082-513-3348

## 救急医療教育に最先端のXR技術を活用した 前例のないチャレンジがスタートします！

### ニーズが多様化・複雑化する救急救命の領域で 高度な知識と技術を磨くXR教育を実現

救急医療に関わるすべての医療従事者に継続的で実践的な学習環境を提供



広島県では、社会課題を解決するアイデアの実現に向けて、障壁となる規制の緩和やルールメイクを支援し、スタートアップが事業活動をしやすい環境作りを目指し、ひろしまサンドボックス サキガケプロジェクトを進めています。

この度、プロジェクト採択企業の1つである、株式会社ビーライズ（広島県広島市）が、救急救命士等の再教育という社会課題解決に取り組むための、新たな一步を歩み始めました。

ルールメイクに向けた新たなチャレンジに、ご注目ください。

株式会社ビーライズは、令和5年度から、ひろしまサンドボックス サキガケプロジェクトに参加し、XR・AI・デジタルツイン技術を活用したサービスの開発、社会実装に取り組んでいます。令和5年度・6年度は、VR/MR技術を活用した医療教育用症例・診察データのプラットフォーム開発に取り組み、実際に大学医学部での教場利用につながりました。

そして、令和7年度からは、救急救命士の教育・再教育の現場での活用に向けチャレンジしています。近年の医療・救急現場では、迅速かつ的確な判断と処置が不可欠であり、救急救命士をはじめとする医療従事者には、より高度な知識と技術が求められており、継続的かつ実践的な能力開発の必要性がこれまで以上に高まっています。

このような社会課題を解決すべく、今回、株式会社ビーライズは、高度な救急救命士教育を行ってきた京都橘学園と、救急救命士有資格者のノウハウを有するCaptain Ambulanceとの共同研究契約を締結し、XR技術を活用した救急医療現場に対応する教育ソリューションを構築し、実践的かつ効果的な教育を実現するための開発と研究に取り組みます。

■ 詳細は株式会社ビーライズのプレスリリースをご覧ください。

<https://prttimes.jp/main/html/rd/p/000000080.000034037.html>

〈取材連絡先〉

今回の共同研究契約に関すること

株式会社ビーライズ 医療・防災 XR 事業部（担当者：古本）E-mail: [contact@berise.co.jp](mailto:contact@berise.co.jp)

ひろしまサンドボックス サキガケプロジェクトに関すること

広島県商工労働局イノベーション推進チーム E-mail: [syo-innovdig@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:syo-innovdig@pref.hiroshima.lg.jp)